

# FASBの金融資産及び金融負債の分類及び測定に関する公開草案

米国財務会計基準審議会 (FASB) 国際研究員 かわにし やすのぶ  
川西 安喜

## はじめに

2013年2月14日、米国財務会計基準審議会 (FASB) は、会計基準更新書案 (公開草案) 「金融商品 (全般) (Subtopic 825-10): 金融資産及び金融負債の分類及び測定」 (以下「本公開草案」という。) を公表した。

本稿では、本公開草案と、国際会計基準審議会 (IASB) が2012年11月に公表した、国際財務報告基準 (IFRS) 第9号「金融商品」の限定的な改訂案 (以下「IASBの公開草案」という。) との違いを中心に解説する。

FASBのボード・メンバーやスタッフが、個人の見解を表明することは奨励されており、本稿では、筆者個人の見解が表明されている。会計上の問題に関するFASBの公式見解は、厳正なデュー・プロセス、審議を経たものに限られている。

## 金融資産の測定区分

本公開草案とIASBの公開草案は共に、契約上のキャッシュ・フローの特性及びビジネス・モデルを評価した結果に基づき、金融資産を分類し、事後測定することを提案している。すな

わち、両ボードのモデルは、①FVTNI、②FVTOCI、及び③償却原価の3つの分類・測定区分を含んでいる。しかし、特定の状況においては、ビジネス・モデルの評価に関する規定を適用した結果、分類が異なる結論になる可能性がある。この理由には、本公開草案が、償却原価に分類された金融資産の売却が認められない状況を詳述することを提案していること等が含まれる。

また、IFRS第9号は、トレーディング目的で保有していない資本性金融商品について、その公正価値の変動をその他の包括利益に含めて認識することを、当初認識時に取消不能の選択として選択することを認めている (いわゆるOCIオプション)。本公開草案では、すべての資本性金融商品をFVTNIにより測定することを原則とし、1株当たり純資産価額に関する簡便法の適用対象とならない資本性金融商品のうち、容易に公正価値が算定できない場合に、実務上の例外を設けることを提案している。

## 分類変更日

本公開草案の金融資産の分類の変更に関する提案は、IASBの公開草案の提案と類似している。しかし、本公開草案が、企業がビジネス・

モデルを変更した期間の最終日を分類変更日とすることを提案しているのに対し、IFRS 第9号は、企業がビジネス・モデルを変更した期間の翌期の初日を分類変更日としている。

## 公正価値オプション

本公開草案は、企業が正味のエクスポージャーを管理している金融資産と金融負債のグループについて、FVTNIにより測定することを認める、条件付きの公正価値オプションを提案している。また、本公開草案は、一定の要件を満たす場合、複合金融負債に公正価値オプションを認めることにより、区分処理を回避できるようにすることを提案している。さらに、本公開草案は、公正価値オプションが認められなければFVTOCIに分類される金融資産について、公正価値オプションを認めることを提案している。

これに対し、IFRS 第9号は、公正価値オプションが認められなければ償却原価に分類される金融資産又は金融負債について、資産と負債の会計上のミスマッチを解消するかこれを大幅に軽減するために公正価値オプションを認めている。同様に、IASBの公開草案は、FVTOCIに分類される金融資産について、FVTNIにより測定することにより会計上のミスマッチを解消するかこれを大幅に軽減する場合に、公正価値オプションを認めることを提案している。また、IFRS 第9号は、金融負債のグループ（又は金融負債と金融資産のグループ）が公正価値に基づき管理されている場合に、その金融負債をFVTNIにより測定することを認めている。さらに、IFRS 第9号は、本公開草案と同様に、一定の条件を満たす場合に、複合金融負債に公正価値オプションを認めることにより、区分処理を回避できるようにしている。

## 公正価値オプションの適用を選択した金融負債

公正価値オプションの適用を選択した金融負債について、IFRS 第9号は、公正価値の変動のうち、その金融商品に固有の信用リスクの変動に帰属する金額をその他の包括利益に含めて認識することを要求している（その取扱いが、純損益のミスマッチを生じさせる場合を除く）。これに対し、本公開草案は、公正価値オプションの適用を選択した金融負債について、その金融商品に固有の信用リスクの変動による公正価値の変動をその他の包括利益に含めて別個に表示することを提案している。

## 金融負債の測定区分

IASBは、金融負債に関する指針について、IAS 第39号「金融資産：認識及び測定」のほとんどを引き継いだものの、公正価値により測定される金融負債における信用リスクの変動に関する表示規定を追加した。IFRS 第9号は、一部の例外を除き、すべての金融負債を償却原価により測定することを要求しており、その例外には、負債であるデリバティブや、公正価値オプションの適用を選択した負債が含まれる。

本公開草案もまた、一部の例外を除き、すべての金融負債を償却原価により測定することを提案している。契約開始時の企業のビジネス戦略が、事後的に公正価値により取引することである金融負債や、空売りから生じる金融負債について、本公開草案は、FVTNIにより測定することを提案している。

## おわりに

2012年1月以来、FASBとIASBは金融商品の分類及び測定に関する差異を削減するために、共同で審議を行っており、本公開草案とIASBの公開草案がそれぞれ確定すれば、従前の会計基準に比べて多くの点で差異が削減されることになる。本稿で紹介した差異は、それぞれの公開草案が確定した場合に残る差異であるが、会計基準を確定させるプロセスにおいてさらに差異が削減される可能性もある。

### 【参考文献】

Financial Accounting Standards Board, *Proposed Accounting Standards Update (Exposure Draft) "Financial Instruments-Overall (Subtopic 825-10): Recognition and Measurement of Financial Assets and Financial Liabilities,"* February 14, 2013.